

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：山本 友菜美）

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語 改訂版』・桐原書店『セレクト漢字検定5級－2級』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 ことばをひらく 「ことばの準備体操」 「言葉の使い分け」 「コミュニケーションは技術だ」 【知識及び技能】 ・言語の機能について学び、その具体的事例について理解させる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・接続表現について学び、正しい接続表現の用い方を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもとうとする姿勢を養う。	・言語機能について学び、その具体例をあげる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を学ぶ。 ・慣用句や改まった場面で避けたい言葉などを学ぶ。 ・接続表現とその具体例を学ぶ。 ・文章に合わせて接続表現を使い分ける。  ・教科書、プリント	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。	○	○	○	7
4 聞く力を育む 「聞き取りのレッスン」 【知識及び技能】 ・相手の話す内容を正確に聞き取り、理解する力を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手に内容が伝わりやすいような話し方を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「聞くこと」に興味をもち、正確に聞いたり必要な情報を聞き取ろうとする態度を養う。	・正確に聞き取る。 ・メモの取り方を覚える。 ・メモをとり、内容を整理する。 ・メモをもとに話の内容を要約する。  ・教科書、プリント、PC端末	○	○		【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。【A(1)エ】 【主体的態度】 ・「聞くこと」に興味をもち、正確に聞いたり必要な情報を聞き取ったりしようとしている。	○	○	○	5
漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。  ・副教材、プリント	○	○		【知・技】 ・常用漢字の読み取りに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			8
定期考査						○	○		1

1  
学  
期

	<p>2 日本語を使いこなす 「伝わるように話そう」</p> <p>【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたいことをわかりやすく整理して話す力を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・「話すこと」の学習に興味をもち、伝えたいことをわかりやすく整理して話そうとする態度を養う。</p>	<p>・自分の考えを明確にし、まとめる。</p> <p>・相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。</p> <p>・言い換えの表現について学ぶ。</p>	<p>・教科書、プリント</p>	○	○	<p>【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。【A(1)イ】</p> <p>【主体的態度】 ・「話すこと」の学習に興味をもち、伝えたいことをわかりやすく整理して話そうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>2 日本語を使いこなす 「正しく書こう」</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文章を書く力を身につけさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・表記に注意を払い、正しい表記で係り受けに気をつけながら書こうとする態度を養う。</p>	<p>・正しい表記について学ぶ。</p> <p>・係り受けを意識して文章を作成する。</p> <p>・原稿用紙の使い方について学ぶ。</p>	<p>・教科書、プリント</p>	○		<p>【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】</p> <p>【思・判・表】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】</p> <p>【主体的態度】 ・表記に注意を払い、正しい表記で係り受けに気をつけながら書こうとしている。</p>	○	○	○	8
	漢字の学習	<p>・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。</p>	<p>・副教材、プリント</p>	○	○	<p>【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】</p>	○			8
	定期考査						○	○		1
	5 論理を読み取る 「水の東西」	<p>・作者の主張とその根拠を理解する。</p> <p>・本文の中で用いられている対比について整理する。</p> <p>・本文の中で用いられている具体と抽象について理解する。</p>	<p>・教科書、プリント</p>	○	○	<p>【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】</p> <p>【主体的態度】 ・論理的な文章を的確に読み取ることに興味をもち、論理展開をとらえようとしている。</p>	○	○	○	10
	漢字の学習	<p>・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。</p>	<p>・副教材、プリント</p>	○	○	<p>【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】</p>	○			9
	定期考査						○	○		1
2 学 期	本のPOPを作ろう	<p>・本を選び、本の情報を整理する。</p> <p>・POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にさせる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書くよう指導する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな分野の本に興味をもち、積極的に読書に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>・教科書、プリント、PC端末</p>	○	○	<p>【知・技】 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。【(3)ア】</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】</p> <p>【主体的態度】 ・さまざまな分野の本に興味をもち、積極的に読書に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	漢字の学習	<p>・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。</p>	<p>・副教材、プリント</p>	○	○	<p>【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】</p>	○			8
	定期考査						○	○		1

3 学 期	冠婚葬祭マナーを知ろう 【知識及び技能】 ・一般的な冠婚葬祭マナーについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・筆ペンなどの特性を理解した上で、のし袋を書くよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冠婚葬祭マナーについて興味をもち、積極的に理解しようとする態度を養う。	・一般的な冠婚葬祭マナーを知る。 ・筆ペンで字を練習しながら、その特性について理解する。 ・のし袋に筆ペンで記入をする。  ・プリント	○	○	○	【知・技】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している【(1)エ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 【主体的態度】 ・冠婚葬祭マナーについて興味をもち、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	7
	8 情報と向き合う 「情報を吟味しながら読もう」 【知識及び技能】 ・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む力を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図表などから必要な情報を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報を吟味しながら読むことに興味をもつ姿勢を養う。	・視点を変えて考える。 ・根拠を吟味する。 ・グラフの特徴を知る。  ・教科書、プリント、PC端末	○	○	○	【知・技】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。【(2)エ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【C(1)イ】 ・「読むこと」において、異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動を通して、情報を吟味している。 【C(2)イ】 【主体的態度】 ・情報を吟味しながら読むことに興味をもち、文章や図表から必要な情報を読み取るようとしている。	○	○	○	7
	8 情報と向き合う 「情報の力関係」 【知識及び技能】 ・図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文字、図形、絵などが読者に与える効果の違いについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章や図表から必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。	・図形を見比べながら、文章の内容を理解する。 ・本文の内容に似た事例をあげ、発表する。  ・教科書、プリント、PC端末	○	○	○		○	○	○	6
	漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。  ・副教材、プリント	○	○		【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			11
	定期考査						○	○		1
	1年間のまとめ	・授業評価アンケートに取り組む、1年間の学習を振り返る。 ・4領域の力をバランスよく身につけられたか確認し、自分自身が今後どのような国語の力を身につけるべきか考える。			○				○	○
									合計	117

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：別木 萌果

使用教科書：（高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会 清水書院）

教科 公民

目標：

【知識及び技能】

・人間と社会についての見方・考え方を働かせる。

【思考力、判断力、表現力等】

・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】

・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な社会の形成者として必要な市民としての資質・能力・態度を育成する。

科目 公共

目標：

・人間と社会についての見方・考え方を働かせる。・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国会議員及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・現代社会の諸課題を捉え、考察し、合理的・客観的に物事を選択・判断するための考え方や理論について理解している。</p> <p>・歴史的事実や諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を、適切かつ効果的に調べまとめることができる。</p>	<p>・現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用できる。</p> <p>・事実と根拠を基に、社会を多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身に付ける。</p> <p>・他者を尊重し、合意形成、社会参画に向けて、対話や議論する力を培う。</p>	<p>・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚する。</p> <p>・主権者、市民として、多様性を尊重し、他者と共に生き、人権を尊重し、寛容な態度、協力し合うことの大切さを育む。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>公共的な空間をつくる私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己をみつめることを通して、哲学や宗教の意味や意義、「幸福」「愛」「徳」など、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、青年期において大切なことを表現してみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの人生と社会</li> <li>2 青年期の心理と課題</li> <li>3 わたしの大切なもの</li> <li>4 楽しいこと・悲しいこと</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1 台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>自己の内面形成と社会とのかかわりに着目させながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>公共的な空間における人間</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ヨーロッパの思想哲学の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生命科学や医療技術の進展にもなつて生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 他者とは何か</li> <li>2 他者の理解と寛容</li> <li>3 他者と共に生きる</li> <li>4 公正と社会的平等</li> <li>5 環境問題とSDGsを考える</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1 台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や科学技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>環境に関わる政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

1  
学  
期

<p>公共的な空間における基本的原理</p> <p>【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 近代的人間像の誕生（1） — 近代の始まり</p> <p>2 近代的人間像の誕生（2） — 科学的な思考</p> <p>3 国家社会と人間性（1） — 社会契約説</p> <p>4 国家社会と人間性（2） — ヘーゲルとマルクス</p> <p>5 公共性の復権と他者についての思考</p> <p>内容 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>人権の尊重と日本国憲法</p> <p>【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。</p> <p>憲法の平和主義について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 他者と共に生きる</p> <p>2 日本国憲法の三大原理と人権保障</p> <p>3 平和主義と国際社会</p> <p>4 自由権 ①法の下での平等 ②個人の尊重</p> <p>5 社会権</p> <p>6 参政権の保障と国務請求権</p> <p>7 新しい人権</p> <p>8 グローバル化と国際人権</p> <p>内容 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>民主政治の成立と課題</p> <p>【知識及び技能】 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、民主政治の仕組みを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会において、基本的人権を拡充と新しい人権の内容を理解させる。 国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 日本国憲法の三大原理と人権保障</p> <p>2 平和主義と国際社会</p> <p>3 自由権 ①法の下での平等 ②個人の尊重 ③精神的自由と身体的自由</p> <p>4 社会権</p> <p>5 参政権の保障と国務請求権</p> <p>6 新しい人権</p> <p>7 グローバル化と国際人権</p> <p>内容 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>選挙について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>日本の政治機構</p> <p>【知識及び技能】 国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治の仕組みと課題を理解させ、よりよい政治の実現のために、国民が政治に参加する意義を考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させることで主権者として育てる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国会の役割としくみ</li> <li>2 内閣と行政機関</li> <li>3 裁判所の役割としくみ</li> <li>4 市民生活と政治参加</li> <li>5 地方自治と住民の生活</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政のしくみ、政治の現状についての知識を身につけ、理解している。 政治や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、政治や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。 政治や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を高めている。</p>	○	○	○	7	
	<p>社会権と生きる権利</p> <p>【知識及び技能】 労働法と労働基本権を理解させ、制度や機構の背景にある労働基本権の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解させ、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解させ、アルバイトや仕事の課題の解決について考察させる。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「違法バイト」の事例</li> <li>2 労働法のしくみ</li> <li>3 労働基本権の特徴</li> <li>4 労働法の活用と相談</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 労働法を理解し、制度や機構の背景にある労働基本権を捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解し、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解し、アルバイトや仕事の課題の解決について行動できる。</p>	○	○	○	7	
	<p>【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解させ、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義を考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みを理解させ、課題の解決について考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会保障のしくみ</li> <li>2 消費者の権利</li> <li>3 消費者の保護のしくみ</li> <li>4 社会保障と消費者保護の活用と相談</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解し、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義に気付くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みを理解させ、課題の解決について行動できる。</p>	○	○		7	
				○	○		1	
3 学 期	<p>国際政治のしくみと役割</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて自己の生き方を結びつけて関心を高めている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代の紛争</li> <li>2 多文化・多民族社会に向けて</li> <li>3 移民と難民</li> <li>4 日本の戦後外交と課題</li> </ol> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心を持ち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。</p>	○	○	○	7	
				○	○		1	
							合計	70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当者： (A組) 鯉沼宏仁 板井勝典)

使用教科書： ( 高校数学 I (実教出版) )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けられるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の論理や体系に関心をもち、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学 I における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計算について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表す力、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりする態度を育む。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の計算、分数の計算ができるようになる。</li> <li>計算の優先順位を理解し、その優先順位のとおり計算ができるようにする。</li> <li>文字を含んだ式のきまりを理解し、表現・処理したりすることができるようにする。</li> </ul>	1章 数と式 1節 整式 ウォームアップ 1. 文字を含んだ式のきまり	【知識・技能】 ・基本的な計算方法を理解できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・能率的な計算方法を考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計算に関心をもち、取り組みようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) 	○			10
	定期考査			○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を使った式で表すことができるようにする。</li> <li>単項式や多項式、次数、同類項について理解している。</li> <li>指数法則を理解し、計算に用いることができるようにする。</li> <li>式の展開は分配法則を用いなければならないことを理解できるようにする。</li> <li>展開の公式を利用することができるようにする。</li> <li>文字をおきかえることによって式の展開を簡略化することができるようにする。</li> </ul>	2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開を、公式を利用して処理することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乘法公式の公式が利用できることに関心をもち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) 	○		○	15
定期考査			○	○	○	3	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解の公式を利用することができるようにする。</li> <li>因数分解の検算に展開を利用しようとする。</li> <li>文字をおきかえることによって式の展開、因数分解を簡略化することができるようにする。</li> </ul>	6. 因数分解	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・因数分解を、公式を利用して処理することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に因数分解の公式が利用できることに関心をもち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) 	○		○	14
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（ A 組：秋元 翔 ）

使用教科書：（ 改訂版 科学と人間生活 数研出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を身に付ける。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、科学に対する興味・関心を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元「科学技術の発展」 【知識及び技能】 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の発展と人間生活の関わりについて科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 科学技術の始まり 2 海（深海を科学の目で見る） 3 土（農業を通して考える） ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・科学技術の発展と人間生活関わりについて科学的に考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に科学技術についての学びに積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	6
B 単元「物質の科学」 【知識及び技能】 身近な材料や衣料と食品に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチック、身近な医療材料の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に物質の科学に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 材料とその再利用 2 食品と衣料 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に物質の科学についての学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
C 単元「生命の科学」 【知識及び技能】 ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解すること。 微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に生命の科学に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 ヒトの生命現象 2 微生物とその利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に生命の科学に対する学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

1  
学  
期

2 学 期	D 単元「光と熱の科学」 【知識及び技能】 身近な材料や衣料と食品に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチック、身近な医療材料の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力】 熱や光や電磁波の性質とその利用について考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に熱や光の科学について興味・関心を高めること。	・指導事項 1 熱の性質とその利用 2 光の性質とその利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・熱や光や電磁波の性質とその利用について理解している。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・熱や光や電磁波の性質とその利用について考察し表現できる。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に熱や光の科学についての学びに積極的に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○	○	○	16
	E 単元「宇宙や地球の科学」 【知識及び技能】 天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解すること。 自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に宇宙や地球の科学に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 太陽と地球 2 身近な自然景観と自然災害 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解している。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて考察し表現できる。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に宇宙や地球の科学についての学びを積極的に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。)	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	F 単元「これからの科学と人間生活」 【知識及び技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について興味・関心を高めること。	・指導事項 1 課題研究：リサイクルによる省エネルギーの検証 2 課題研究：河川の珪藻調査 3 課題研究：太陽光の有効な利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器等 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・これからの科学と人間生活との関わり方について理解している。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・これからの科学と人間生活との関わり方について考察し表現できる。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これからの科学と人間生活との関わり方についての学びを積極的に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。)	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：河合・松本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むませるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
B フライングディスク 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ビボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットティングを身につける ・集団技能 ・速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12

1  
学  
期

	<p>C ソフトボール</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。</li> </ul> <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バントエンドラン、ヒットエンドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
	<p>D バドミントン</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。</li> </ul> <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>				10
	<p>E 陸上競技(長距離)</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。</p>	<p>持久走</p> <p>決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	12
2 学 期	<p>F サッカー</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス、とらッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。</li> </ul> <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4

	に貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。						
	<p>F テニス</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識）</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サーブ、レシーブなどを身に付ける。</li> </ul> <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識）</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
	<p>G バスケットボール</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識）</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ピボットなどを身に付ける。</li> </ul> <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識）</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
3 学期	<p>H 卓球</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識）</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p>	<p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サーブ、レシーブなどを身に付ける。</li> </ul> <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識）</p> <p>安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。（技能）</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
						合計	
						78	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：河合）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 健康の考え方 【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	健康の考えかたと成り立ち ・健康については様々な考え方がある ・健康は様々な要因から成り立つ  私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準は向上を続けてきた ・健康問題は時代とともに変化する  健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり ・適切な意志決定、行動選択が重要 ・適切な意思決定、行動選択する為に ・健康に関わる環境作りの重要性	【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	5
	B 現代の感染症とその予防 【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	感染症とその予防 ・病原体が原因の病気を感染症という ・問題となる感染症は変化している ・感染症の予防は社会と個人で取り組む  性感染症、エイズとその予防 ・性感染症、エイズが若者の間で問題となっている ・性感染症、エイズは予防できる	【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	5
	C 生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	生活習慣病とその予防 ・生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という ・生活習慣病を予防しよう  食事と健康 ・食事は健康の基礎である ・健康的な食事をとろう  運動、休養と健康 ・適度な運動が健康をつくる ・休養が疲労を回復し活力を復活させる	【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	5
	定期考査	A 健康の考え方 B 現代の感染症とその予防 C 生活習慣病などの予防と回復	【知・技】1学期に学んだことを理解している 【思・判・表】1学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている		○	○	○	1

2 学 期	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	喫煙と健康 ・喫煙は健康に大きな影響をもたらす ・喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる ・たばこ対策は全世界で進められている  飲酒と健康 ・アルコールは脳や体に影響を及ぼす ・長期間の過度の飲酒は多くの問題を引き起こす ・様々な飲酒対策がおこなわれている  薬物乱用と健康 ・薬物は人生を壊す ・自分の周囲や社会にも悪影響	【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	E 精神疾患の予防と回復 【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	欲求と適応機制 ・欲求は成長とともに多様化する。 ・欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある。  心身の相関とストレス ・心と体は一体となって働いている ・ストレスは心と体に影響を及ぼす  心の健康のために ・ストレスの対処法 ・自己実現は心の健康につながる	【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。  【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 E 精神疾患の予防と回復	【知・技】2学期に学んだことを理解している 【思・判・表】2学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	1
3 学 期	F 安全な社会づくり 【知識・技能】環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解する。 【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えるとともに、それらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む。	交通事故の現状と要因 ・若者では自動車と二輪車の事故が多い ・3つの要因が関わって交通事故がおこる  交通事故を防ぐためには ・運転者には資質と責任が必要である ・安全な交通社会づくりが進められている	【知識・技能】環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。  【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	G 応急手当 【知識・技能】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	応急手当の意義のその基本 ・適切な応急手当は命を救い痛みをやわらげる ・応急手当の最初のポイントは確認と観察である。  日常的な応急手当 ・けがに応じた応急手当がある ・熱中症には適切な手当が大切  心肺蘇生法の原理とおこない方 ・心肺蘇生法は原理にもとづいている ・心肺蘇生法には適切な手順がある	【知識・技能】適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。  【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
合計							

<p>定期考査</p>	<p>F 安全な社会づくり G 応急手当</p>	<p>【知・技】 3学期に学んだことを理解している 【思・判・表】 3学期に学んだことを表現している 【主学態】 考査に主体的に取り組もうとしている</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>39</p>
-------------	------------------------------	--	----------	----------	----------	-----------

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：(A組：帯刀みね子)

使用教科書：(MOUSA I 音 I 703 )

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情懷を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	鑑賞					
<p>題材名「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」</p> <p>【知識・技能】曲に相応しい発声などの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌うこと。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニンング」 花/翼をください</p> <p>・教材 教科書・プリント・ICT機器 等</p> <p>・1人1台端末の活用 等</p> <p>・ソルフェージュ p.18 ⑤～⑨</p>	○			<p>【知識・技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。</p> <p>【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図をもつこと。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)</p>	○	○	○	8
<p>題材名「“CUPS”やボディーパーカッションに挑戦しよう」</p> <p>【知識・技能】曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】ボディーパーカッションや身近にあるコップなどをを用いたリズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わうこと。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】曲想とコップや机などを打つ音色や奏法、手拍子や足踏みとの関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>Clap, Tap with CUPS!</p> <p>・教材 教科書・プリント・ICT機器 等</p> <p>・1人1台端末の活用 等</p> <p>・ソルフェージュ (リズムを正確に打つ練習)</p>	○	○		<p>【知識・技能】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)</p>	○	○	○	10
<p>題材名「音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう」</p> <p>【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>・組曲&lt;動物の謝肉祭&gt;鑑賞</p> <p>・教材 教科書・プリント・ICT機器 等</p> <p>・1人1台端末の活用 等</p>			○	<p>【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。</p> <p>【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)</p>	○	○	○	8
<p>題材名「表現を工夫してギターを演奏しよう」</p> <p>【知識・技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚しそれらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつこと。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に器楽の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>ギター：日曜日よりの使者/第三の男のテーマ</p> <p>・教材 教科書・プリント・ICT機器 等</p> <p>・1人1台端末の活用 等</p>	○	○		<p>【知識・技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)</p>	○	○	○	12



高等学校 令和7 8 年度1学年用

外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科：外国語 科目：英語コミュニケーション I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組  
 教科担当者：(A組：齊藤克彦) (B組：齊藤克彦) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書：( Amity English Communication I )

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】基本的な単語の読み書きができる様に、主語、動詞を理解し文の構成を把握できる
  - 【思考力、判断力、表現力等】基本的な英語の運用能力を身に着け、英文の内容を理解し、思考、表現する能力を身に着ける
  - 【学びに向かう力、人間性等】英語の学習を通して言葉への関心を高め、言葉・文化・民族の多様性と共生の大切さを学ぶ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な読み書きができる様に、主語、動詞を理解し文の構成を把握できる	基本的な英語の運用能力を身に着け、英文の内容を理解し、思考、表現する能力を身に着ける	英語の学習を通して言葉への関心を高め、言葉・文化・民族の多様性と共生の大切さを学ぶ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 ( や )	話 ( 発 )	書					
1 学 期	Get Ready 1,2,3,4 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・アルファベット、職業を英語、単語を調べる、発音記号、動詞の活用、複数形、あいさつ表現 ・一人1台端末の活用等	○	○			○	【知識及び技能】単語や語句、Be動詞の現在形を理解する。【思考力判断力表現力】話している時に基本的な語句を用いているか。【学びに向かう力、人間性等】あいてにわかってもらえるよう主体的な態度があるか ・プリント提出、授業態度、小テスト	○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
	L1. The Beautiful Scenery L2. My best friend 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・主語、be動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞 過去形 ・一人1台端末の活用等	○	○			○	【知識及び技能】単語や語句、Be動詞の現在形を理解する。【思考力判断力表現力】話している時に基本的な語句を用いているか。【学びに向かう力、人間性等】あいてにわかってもらえるよう主体的な態度があるか ・プリント提出、授業態度、小テスト	○	○	○	16
	定期考査								○	○		1
2 学 期	L3. Love for dance L4. Endangered Species 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・現在進行形の 疑問文と否定 ・不定詞 ・一人1台端末の活用等	○	○			○	【知識及び技能】単語や語句、Be動詞の現在形を理解する。【思考力判断力表現力】話している時に基本的な語句を用いているか。【学びに向かう力、人間性等】あいてにわかってもらえるよう主体的な態度があるか ・プリント提出、授業態度、小テスト	○	○	○	14
	定期考査											1
	Lesson5 The History of Chocolate 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・動名詞 助動詞 ・一人1台端末の活用等	○	○			○	【知識及び技能】単語や語句、Be動詞の現在形を理解する。【思考力判断力表現力】話している時に基本的な語句を用いているか。【学びに向かう力、人間性等】あいてにわかってもらえるよう主体的な態度があるか ・プリント提出、授業態度、小テスト	○	○	○	16
	定期考査								○	○		1
3 学 期	Lesson 6 Our school Serendipity 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	L7 ・比較表現 ・現在完了形 ・一人1台端末の活用等	○	○			○	【知識及び技能】単語や語句、Be動詞の現在形を理解する。【思考力判断力表現力】話している時に基本的な語句を用いているか。【学びに向かう力、人間性等】あいてにわかってもらえるよう主体的な態度があるか ・プリント提出、授業態度、小テスト	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
											合 計	78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当： (A組：佐伯和昭)

使用教科書： ( 図解情報 I )

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 情報社会と私たち</p> <p>【知識及び技能】 今までの情報技術とこれからの情報技術を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 膨大な情報から必要な情報を整理・分析して、判断する力を養わせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 既に自分たちが情報発信者であり、モラルと責任を持つことの重要性を理解させる。</p>	<p>情報社会の現状について理解する。</p> <p>情報化の光と影について理解する。</p> <p>情報社会における個人の責任を理解する。</p>	<p>【知識・技能】 IoT、人工知能（AI）の意味とその活用について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報の発信・受信において、発信者や受信者として注意すべき点について考え、自ら責任をもって行動している。</p>	○	○	○	6
<p>B 問題解決</p> <p>【知識及び技能】 問題解決の基本的な手順について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に必要な情報を収集し、整理する方法について理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 収集整理した情報を効果的に分析しまとめる方法について理解させる。</p>	<p>問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。</p> <p>情報収集のための手法（ブレンストリーミング、検索エンジンの利用）について学ぶ。</p> <p>表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8
<p>C 情報社会における法規と制度</p> <p>【知識及び技能】 個人情報・知的財産権の存在意義と有効性を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 個人情報の漏洩、知的財産権の侵害が起きた時の対策と防止法を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 個人情報・プライバシーの重要性を理解させる。</p>	<p>個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。</p> <p>知的財産権の概念（知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成）について学ぶ。</p> <p>著作物の利用、著作権の侵害について学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 個人情報やプライバシーの概念を理解し、個人情報の保護や管理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 個人情報の流出を防ぎ、自らの個人情報を適切に管理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自らや学校での活動に対し、著作権侵害をしないよう活動を計画することができる。</p>	○	○	○	7
<p>D 情報セキュリティ</p> <p>【知識及び技能】 個人が行うセキュリティ対策について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大切な情報を守るための認証の利用や、情報セキュリティ技術の重要性を理解させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について学ぶ。</p> <p>安全性の高いパスワードとその管理について学ぶ。</p> <p>コンピュータウイルスやマルウェアの概要と対策について学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について、適切に判断し対応することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「特定されづらいパスワード設定」の実習において、情報のセキュリティを高めようと、粘り強く取り組んでいる。</p>	○	○	○	7
			○	○		1

2 学 期	<p>コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】 メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りのデザインに施されている配慮について知る。</p>	<p>・メディア メディアの機能と特性について学ぶ。 メディアの分類について学ぶ。</p> <p>・コミュニケーション コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 コミュニケーションの変化歴史について学ぶ。</p> <p>・情報デザイン デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝達したい情報を効果的に表現することができる。 コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。」</p>	○	○	○	11
	<p>コンテンツの作成</p> <p>【知識及び技能】 プレゼンテーションの作成方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スライドの作成と見やすくするための工夫について知る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スライドの発表、評価の方法について理解する。</p>	<p>・コンテンツの作成 コンテンツの作成手順を学ぶ</p> <p>・プレゼンテーションソフトの使用 方法を学ぶ。</p> <p>・スライドの発表 スライドの発表方法について学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。</p>	○	○	○	14
	<p>情報とコンピュータ</p> <p>【知識及び技能】 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータにおける各表現メディアの表現方法について理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音声・画像・動画のデータ量の計算方法を理解する。</p>	<p>・デジタル表現の特徴 アナログとデジタルについて学ぶ。</p> <p>・2進数と情報量 2進数と10進数、16進数の関係を学ぶ。</p> <p>・文字・音・画像・動画の表現方法 音のデジタル化、周波数・ヘルツ・標準化・量子化・符号化周期について学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 コンピュータ内部の数値表現方法である2進数から、10進数や16進数へ相互に変換する方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。 音声、画像、動画の主なファイルについて、データ圧縮との関連も含めて、その特徴や内容を説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>アルゴリズムとプログラム</p> <p>【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムの基本構造を学び、わかりやすいプログラミング作成の手順を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己評価および相互評価により、効率的なプログラムの改善に向けての手順を理解する。</p>	<p>・アルゴリズム アルゴリズムの基本とプログラムの意味を学ぶ。</p> <p>・簡単なプログラムの作成 プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造のプログラミングを学ぶ。</p> <p>・プログラムの応用 関数を利用したプログラムを学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】 アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。 作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査						1
							合計
							78

